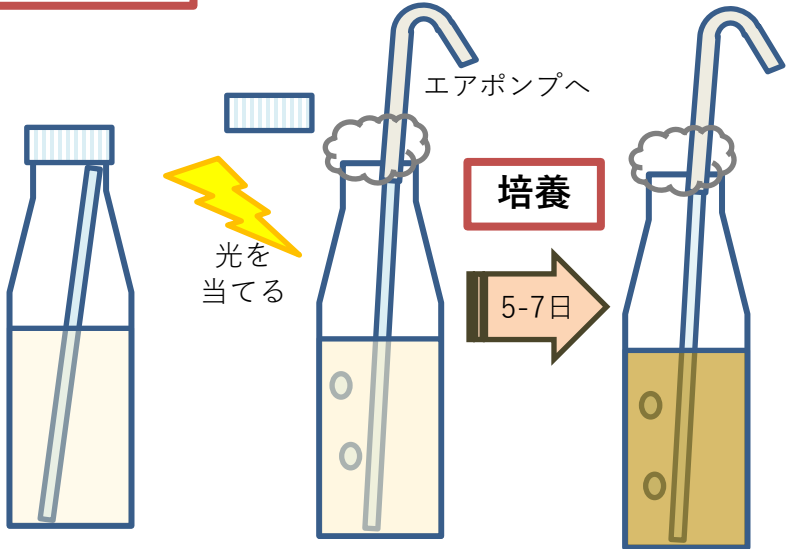


植物プランクトン 珪藻培養図解

届いたとき

ガラス管をチューブで
エアポンプに繋ぎ、紙
タオルなどで蓋をする

珪藻が増えると
ほうじ茶のよう
な色になる



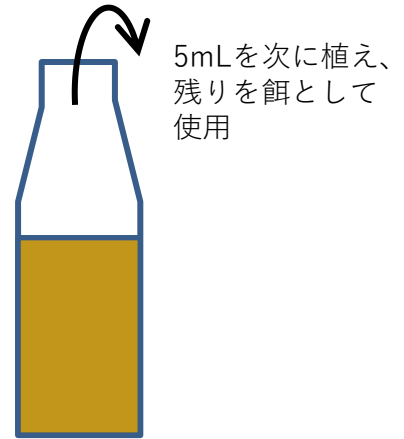
10°C以下だと増えない
25°C以上だと珪藻以
外のアオコなどが増え
やすくなる

培養

5-7日

この辺りでオン
ライン相談会
があります

植え継ぎと餌やり

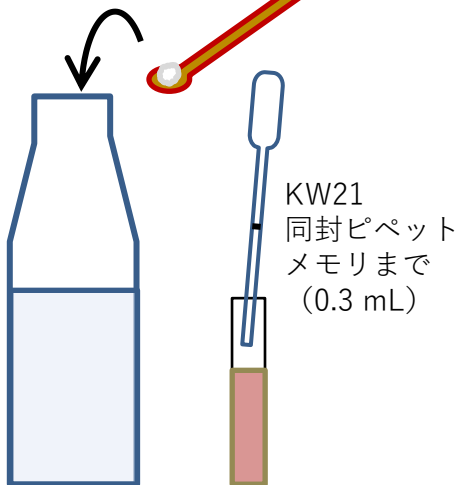


5mLを次に植え、
残りを餌として
使用

植え継ぎの説明はオンライン
会ですしますので、まずは届いた
珪藻種入り培地をポンプでエ
アレーションしながらスタンドラ
イトなどの光を当てて、珪藻を
増やしてください

新しい培地の準備

メタケイ酸ナトリウム
耳かき一杯分



人工海水300mL

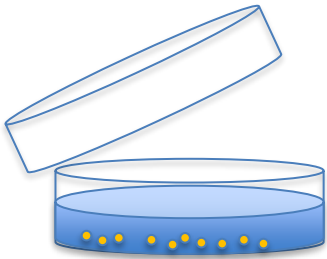
80°C
20分間
滅菌

沸騰させると海
水の成分が変質
してしまうので
80°Cで

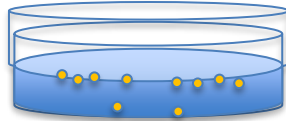
前の培地から
5mLを植え継ぎ、
新たな培養開始

ガラス管の代わり
にストローも使える

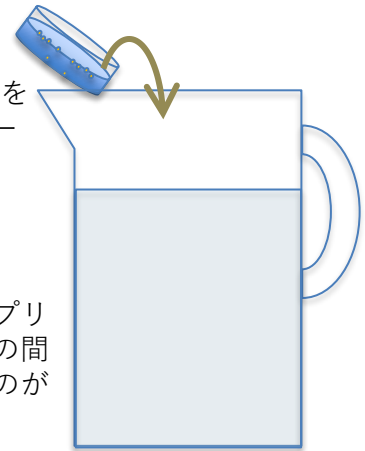
動物プランクトン ウニ幼生3Lビーカー回転飼育図解



底一層に卵を入れた状態のシャーレで受精を行った場合、そこから発生した胚がちょうど3Lビーカー1つぶんくらい

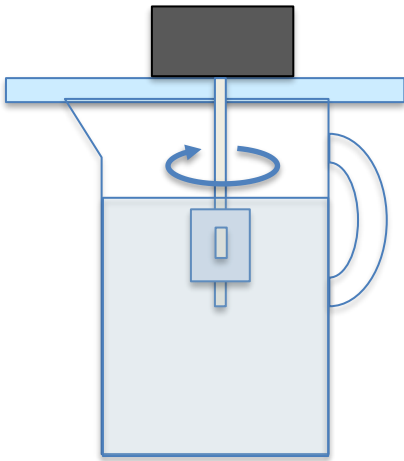


孵化した胞胚は水面に集まり、発生が上手く行かなかった卵はシャーレの底に残る



上澄みだけを3Lビーカーに移す

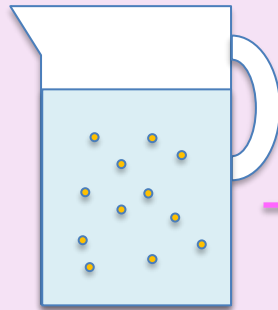
原腸胚からプリズム期までの間に移動するのがおススメ



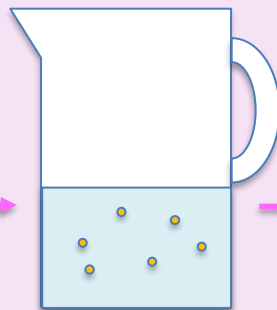
飼育装置で飼育
餌やりは2日に1回
珪藻を20 mL

水替え2パターン

水替えは基本的には週一回



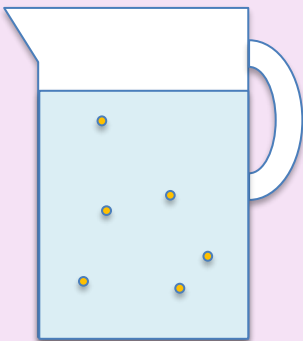
高い密度で飼い始めた場合…



中身を半分捨てる



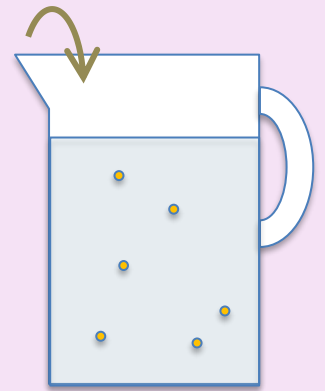
新しい海水を足して水替え完了



普通の密度の場合
マニュアル4ページのように水替え



全体を水替え用のビーカーに移し、メッシュ付きボトルを使って海水を捨てる



きれいに洗った元のビーカーに幼生を戻し、捨てた分と同じ量の新しい海水を足す